

3 学年部会 部報

第2号 平成29年5月29日 (文責：日新小 小沼 明日騎)

1. 新学習指導要領から、授業づくり検討を行う。

現行学習指導要領 3・4学年 目標(2)

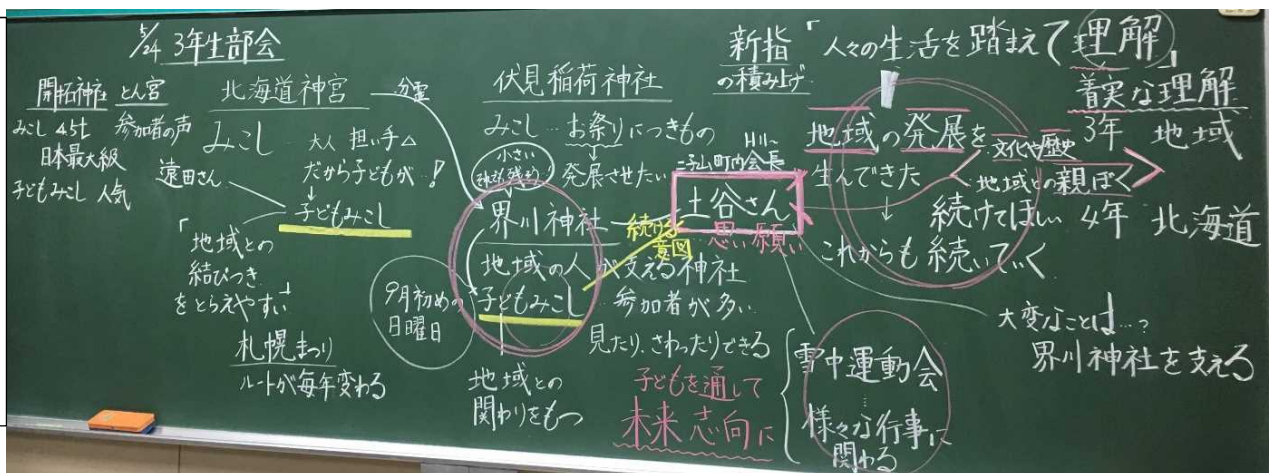
「地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。」

新学習指導要領 4学年 目標(1)

「…(中略)…地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。」

現行と次期で、扱う学年など違いがありますが、教材化を進めるにあたって、次期指導要領で新たに盛り込まれている「人々の生活との関連を踏まえて理解」することのできる事象の教材化を目指します。

部会で話し合った内容の板書



2. 集めてきた情報などから、授業づくりの検討を行う。

北海道神宮、伏見稲荷神社、札幌まつりなどの情報収集を行い、それらを踏まえて授業づくりを検討しました。その中で、緑丘小学校の校区にある『界川神社』の存続に関わる土谷さんを取り上げることで、学習指導要領の目標を具現化できると考えました。

『界川神社』は、とても小さく、「一見するとこれは本当に神社？」と思ってしまうほどの大きさです。ですが、土谷さんを中心に続けられているお祭りの時には、地域の方々が盆踊りを踊ったり、子どもみこしも行われており、街を歩いて回ったりしています。緑丘小の子もたくさん参加し、地域の大人も多数関わっています。大人の中にはPTA や町内会、スクールガードの方など、子どもが関わりをもつ大人が複数おり、子どもと地域との関連が見えてきます。

界川神社の子どもみこしを守る土谷さんの営みを通して、『地域の発展を願っている』ことや『人々のつながりを大切にする』ための工夫や努力があると考え、今後さらにこの思いや願いに迫っていきます。この授業を通して『神社を教える』授業で終わってしまうのではなく、『子どもを通して未来を考えることができる』授業にしていくことで、地域社会に対する誇りや愛情を育てていけるようにしていきます。

次回 界川神社の情報をもとに、子供の思考に沿った単元構成や本時の流れの検討を行います。

6月14日(水) 18:30～ 緑丘小学校にて行います。時間・車・服装・マナーにご配慮ください。



4年生部会

平成29年5月29日
文責：米里小学校
丸尾 英紀

5月10日（水）と24日（水）手稲鉄北小学校にて、3～4回目の部会が行われました。会を重ねるごとに多くの方が参加してくださり、熱い議論が交わされました。

3回目の部会で、「農業体験」を通してニセコの魅力に迫るということが確認されていたので、4回目では具体的な本時案を想定して話し合いが行われました。その中で、以下のような課題点が出てきました。

子どもの活動と思考の流れ

ニセコ町は“気温差や土地を生かして農業をしている町”、そして“地形や気候を生かした観光がさかんな町”ととらえている。特に「観光」については、年間で約145万人の人が来ていること、そのほとんどの人が夏のアウトドアと冬のスキーを目的に来ていることを学んでいる。

ニセコは、農業と観光がさかんな町だったね

観光客が…

自分の仕事だって
たくさんあるのに…
その暇があったら
作業したい…

農業体験

農家の人が…

アクティビティは
たくさんあるのに
暑いし、重たいし、
大変な作業なのに

農家の人々は、どうして観光客に農業体験をさせているのだろう。

体験した人は…

- ・自然の美しさを楽しむことができる
- ・野菜づくりの大変さを学べる
- ・手間暇かけて作った野菜のおいしさを味わえる
- ・人のあたたかさや農業の楽しさを感じることができる

また来たい！！

ニセコの魅力

農家の人は…

- ・野菜のおいしさを知ってもらえる
- ・安全性を分かってもらえる
- ・手間暇かけて作っていることを知ってもらえる
- ・野菜作りにかけた思いを知ってもらえる

知ってほしい！！

農業体験を通して、ニセコ魅力を
たくさんの人に伝えたいからなんだね。

もっとたくさんの人に魅力を伝えるために、何かできないかな？
…問い直し…

- ①「保護」＝「未来」が見えるように
- ②町民のため、まちの発展のため＝「持続可能なまちづくり」ということが見えるように

☆前時において“観光”と“農業”は別々にとらえている。それらをつなげるために農業体験を取り入れた。

◇発表の根拠になるものが「わたしたちの札幌」だけでは乏しいのでは。

◇ニセコの代表的な体験活動“スキー”“ラフティング”“農業”のそれぞれの伸び率を、グラフで提示して違いを明確にできればよい。

◇出口をどのようにするか？
“保護”とあるが、それが見える具体的な事例が必要。

◇住んでいる人の喜び・想い・願いがあってこそ持続可能なまちづくり。
農業体験を引き受けている人は何を思っているのか知りたい。

次回までに以下のようなことを調べることになりました。

- 農業体験の良さを掘り下げる
- 農業体験を通してニセコの住民に還元されるものは何かをより明確に。
- “保護”が見える事例を探す
- ニセコ魅力をより具体的に調べる。

次回の部会は…

6月7日（水）18：30～ 手稲鉄北小学校 2F 4-1

たくさんのご参加お待ちしております。みなさんと、授業づくりを盛り上げていきましょう！

遅刻・欠席の連絡は忘れずに。鉄北小学校に迷惑のかからないよう、時間厳守やマナーは守って。

5 学年部会

「販売」「運輸」を扱う教材検討が進んでいます

1 現行学習指導要領と新学習指導要領の違いを再確認しました。

	現行学習指導要領	新学習指導要領 変更点
内容	我が国の情報産業や情報化した社会の様子 「医療」「福祉」「防災」「教育」	我が国の産業と情報とのかかわり 「販売」「運輸」「観光」「医療」「福祉」
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">国民生活の向上</div>	

- ・どちらの学習指導要領においても、最終的なゴールは「国民生活の向上」である。
- ・新学習指導要領では、「情報」を生かして発展する「産業」の学習という位置付けである。

2 本時を踏まえた教材について話し合いました。

「販売」「運輸」の分野を中心に、部会の先生方が調べてきたことについて話し合いました。“自分たちが社会に関わっているという意識”をもたせ、“自分で判断する力”を付けるためには、どの教材がふさわしいのか検討し、次の二つが教材化の可能性のあるのではないかという話になりました。

ヤマト運輸	<ul style="list-style-type: none"> ・「販売」「運輸」両面が見える。ネットショッピングからの流れがスムーズ。 ・全国での取組であるため、地域性は見えにくい。ヤマト自体の IoT 活用は？
コープさっぽろ トドック	<ul style="list-style-type: none"> ・身近であり地域のよさが見えやすい。小単元3につなげやすい。 ・結局は人と人とのふれあいが良いという結論に至ると単元の流れに違和感が出る。

【次回までに】

子どもたちにとって身近である「スマートフォン」での導入から、「ネットショッピング（販売）」、そして「ヤマト（運輸）」の流れでいったらどうかという話になりました。

そこで、次回までに「ネットショッピング（販売）」「ヤマト（運輸）」について調べてきます。次回、本時、単元構成の両方を見据え、検討していきます。

話し合いの中で…

- ① 「地域」とは、自分とのつながりを感じたところである（地域を「我が国」と広く捉えることも可能）。
- ② どのくらい先の未来を見据えて考えるか。
- ③ 産業側の情報技術の活用について

今回は 時間・車・服装・マナーにご配慮ください。
6月14日(水)
手稲鉄北小学校
18:30~
 欠席・遅刻の場合は 連絡をお願いいたします。

The chalkboard contains handwritten notes in Japanese. On the left, it compares 'Current' (現行) and 'New' (新) curriculum, focusing on 'Industry-Information' (産業-情報) and 'Information Society' (情報社会). It lists 'Sales' (販売) and 'Transportation' (運輸) as key areas, and notes their contribution to 'Quality of Life' (国民生活の向上). In the center, there are notes about 'Convenience' (利便性) and 'Quality of Life' (国民生活の向上), with a question 'Why is it necessary?' (なぜ必要?). On the right, there are notes about 'IoT Industry' (IoT産業), 'E-commerce' (EC), and 'Smart Underground' (スマート地下街). At the bottom, there are notes about 'Local-My Country's Industry' (地域-我が国の産業) and 'IT Self-Publishing' (IT自販機). The board is decorated with colorful markers and includes a small calendar for May 24th.



第6学年部会



2017.05.29

部報 NO.2

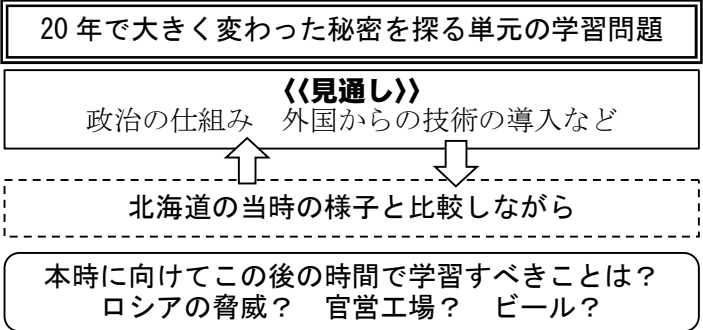
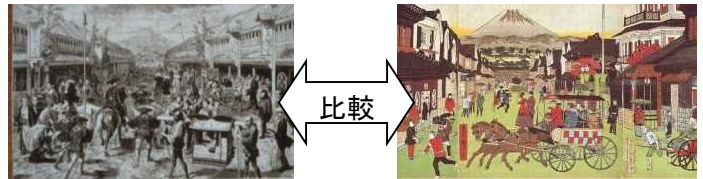
開拓使麦酒醸造所を札幌につくった意図に迫る

単元の学習問題：20年で大きく日本が変わった秘密に迫る

単元の導入では、教科書にある江戸時代末ごろの様子と明治時代初めの様子の絵を比較し、様々な違いがあることに気付かせる。そこからわずか20年間で大きく変わった秘密を調べるという学習問題をもたせようと考えた。そして、子どもに予想させて見通しをもたせることで単元を通した問題解決に向かうことができる。

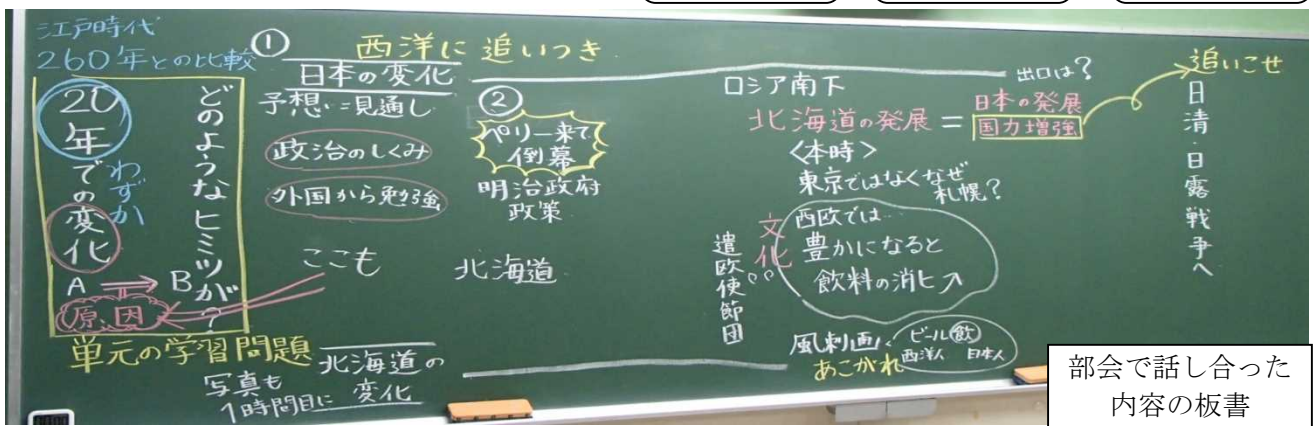
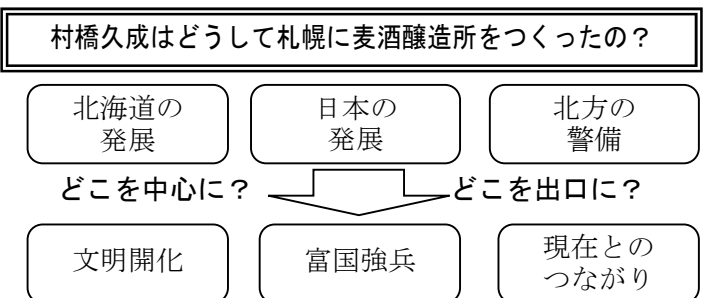
また、当時の北海道の様子とも比較していくことで、今住んでいる北海道と日本の様子が関係付けられ、より追求意欲が高まっていく。

次の部会では、この後の時間、本時に向けて何を学習していくかを明らかにしていく。



本時の学習問題：村橋久成が東京ではなく札幌に麦酒醸造所をつくった意図に迫る

本時では、村橋久成が東京につくるのを予定されていた麦酒醸造所を札幌につくったという事実をもとに村橋久成の意図に迫る学習問題にしようと考えた。次回の部会では、本時で獲得すべき見方・考え方は何か、授業の出口をどこにもっていくかを考えていく予定。



部会で話し合った内容の板書

★連絡★

今回は 6月14日(水) 緑丘小学校 18時30分～

時間、車、服装、マナーなどにご配慮ください。欠席、遅参の場合は連絡をください。

文責:信濃小学校 山田 透